

NPO トラックス

2017 年度活動報告書



認定特定非営利活動法人

トラックス

ビジョン | VISION

スポーツを通し、障がい者と健常者が
共に成長できる社会の実現



ミッション | MISSION

- 知的障がい児・者のサッカーの普及と選手・指導者育成
- 知的障がい児・者の社会進出
- 知的障がい児・者の精神的自立

ごあいさつ



私たちは知的障がいや発達障がいのある方たちが、少しでも社会の中で自立し心身ともに豊かで笑顔が溢れる生活が送れるよう支援をしたいとNPO法人トラッソスを設立致しました。

2017年8月には、所轄庁から認められ、認定NPO法人格を取得することができました。一重に皆様のご支援の賜物です。心より感謝申し上げます。

週に数回行っているスクールやクラブチームでは、幼児から青年の方までが健康の維持を保ちつつ、自身の居場所として楽しみに通ってきてくれています。仲間と一緒にボールを追いかけ、汗をかき、コートをにこにこ走り回る姿は、とっても素敵な空間となっています。また交流大会等を通して、健常児・者の方たちと交流しています。お互いがスポーツを通して、理解し合える場面などは、心が震えるほどの感動を覚えます。

ご協力くださる保護者、ボランティアスタッフの皆さん、応援して下さるスポンサー・パートナーの皆さんには心より感謝しております。今後もさらにトラッソスの輪を大きく成長させていくことを楽しみながら活動してまいります。

認定特定非営利活動法人トラッソス
理事長 江木ひかり

トラッソスの取り組み

NPOトラッソスは、障がい者と健常者が共に成長できる社会の実現を目指し、サッカーを通して知的障がい児・者と健常者がお互いを認め合い尊重し合えるコミュニティ作りに取り組んでいます。障がい児・者がやりたくなるサッカーを提供し、そしてサッカーを通して社会進出を促進するのが私たちの理念です。

障がい者と健常者が共に成長できる社会を実現するため、私たちは障がい者とその家族へのアプローチと健常者と地域社会へのアプローチが必要と考えます。知的障害や発達障害のある子ども

や大人が、精神的な自立、社会性、コミュニケーション能力、挨拶などの礼儀を身につけていることで円滑に地域社会と関わっていくことができます。そして、本人や家族の誰かに知的障害や発達障害があっても安心して生活できる社会を実現させるには、健常児・者の理解と地域のサポートが不可欠です。NPOトラッソスでは、交流会やセミナーを実施し、健常者や地域への関心や意識を高める活動を行っています。

NPOトラッソスはスポーツを通し、障がい者と健常者も全ての人が普通に、共に地域で暮らし生きていける社会の実現を目指します。



トラッソスについて



スクール・クラブ活動報告

交流会事業

トラッソス・サッカースクールでは「できる楽しさ」「ボールを追いかける楽しさ」など、会員から自然と“笑顔”がわいてくるメニューを用意しています。失敗を恐るのではなく、失敗することも楽しんでチャレンジを積み重ねることで達成感と自信を持ってもらいます。

サッカークラブ (FCトラッソス) は原則として高校生以上で構成され、仲間と協力して“笑顔”で楽しむサッカーを行っています。クラブでは、仲間を大切に、仲間と共に汗を流しながらグループでの達成感を味わいます。勝敗に拘ることをせず、選手同士の絆、選手同士の言動に着目し、何が本当に大切なかを追及していきます。

みんなでも楽しもう！
心から楽しもう！



TRACOS
SOCCER SCHOOL



FC TRACOS

サッカースクールのクラスやクラブでのトレーニングに加え、色々な活動を通して地域社会と関わりながら成長しています。健常児者との交流会、サマー・キャンプ、クリスマス会、ファミリーサッカーなどのイベントを行っています。

また、NPOトラッソスが主催イベントとして開催する「全日本知的障害児・者サッカー競技会にっここフェスタ」では、知的障がい者・発達障害のある方々、保護者・家族の方々、施設関係者の方々が情報を交換し、またボランティアとして参加する健常児・者が交流する機会となっています。



AUG.

保護者と離れて、自然の中で集団で生活をするサマーキャンプでは自立心や協調性が育ちます。



OCT.

にっここフェスタでは「誰でも、一人でも、仲間とも、家族とも」楽しめるサッカーを提案しています。



DEC.

保護者の方々への感謝を込めてクリスマス会が開かれます。保護者・家族の方々の交流の場ともなっています。



FEB.

青森遠征では、東京では経験できない雪を利用した体験をしています。また現地の団体とも友好な関係を結び、仲間との時間を大切にしています。



MAR.

健常児・者と一緒にサッカーをする交流会 COPA & COPA (コバ&コバ) を通し、コミュニケーション能力や社会性を高めます。

トラッソスでは、知的障がい児・者と健常児・者がサッカーを通じた交流の場を設け、相互理解を深めるイベントを開催しています。障害のあるなしに関わらず、プレーヤーとして1つのボールを追いかけます。スポーツだからこそ、言葉で説明する必要はありません。子ども同士、選手同士そしてや指導者同士が仲良くなり、そしてお互いが理解を深めていく場になっています。



W/U-15 FUKAGAWA



W/NIHON SOCCER OB ASSOCIATION



W/UCFC GIOIA & CRECER

指導者派遣事業

近隣で行われるスポーツイベントへの参加を諦めてしまったり、遠くてトラッソス・サッカースクールに通えない発達障がい児がいるのであれば、そこに私たちが向かえば問題は解決します。NPOトラッソスでは、様々な地域・団体に指導者(コーチ)が出向き、サッカー教室を提供するコーチ派遣を行っています。



KOMAE



NERIMA



SAITAMA

ボランティア紹介

活動は中学生、高校生、大学生、社会人など多くのボランティアによって支えられています。多種多様な職種のボランティアの参加により、子ども達や選手はスクールやクラブを通し社会を広げています。また、企業の社員の方に時間とスキルを提供して頂くプロボノ支援、社内での募金活動(ファンドレイジング)による支援など企業との連携も生まれています。



今年度の事業概要

クラブ運営事業

サッカースクール

東京都内で5つ（白鷺、江東、鹿本、中野および豊川スクール）神奈川県で2つ（藤沢および横浜スクール）の計7つのスクールで、毎週サッカークラスを実施しています。〔生徒数 73名〕

サッカークラブ

サッカークラブは毎週金曜日に都内にて行っています。2017年度の東京都障害者スポーツ大会戦績結果は、2部クラス2位、3部クラス2位・4位でした。〔選手数 57名〕

交流会事業

copa&COPA やここにこフェスタに加え、高齢者の方々やJリーグクラブの下部組織の選手達、他地域で活動する団体とサッカーを通して交流しました。〔交流会 / 交流試合等実施 7回〕

copa & COPA

2017年3月開催。230名のプレーヤーと沢山の指導者の方々、沢山の各チームのサポーターさんが参加してくれました。

全日本知的障害児・者サッカー競技会～ここにこフェスタ～

2017年10月開催。第10回記念となる当競技会には選手・指導者・サポーター・ボランティアを含む1,900名以上の来場者がありました。

指導者派遣事業

指導者派遣事業

サッカーの指導者はたくさん存在しますが、知的障害・発達障害のある方々を対象とする指導者は極めて少ないのが現状です。また、トラッソスの活動する会場に来ることが困難な方もたくさんいます。各地に指導者を派遣し、笑顔で楽しむサッカーの提供を行っています。

指導者育成

帝京平成大学院准教授による「発達心理学勉強会」

就労直後または就労2～3年を経過する者が精神的不安定になることが多くなってきているため、専門知識を有する准教授の指導の下、大学院生の実習先となり、選手及び保護者のメンタルケアを行いました。また、スタッフは定型発達の方と障害のある方の発達心理学を月2回のペースで学び、関わる子ども達の成長時の心理の成り立ちなどを知ることで、指導現場で更なるサポートを実行することができました。

障がい児の未来を見つめる指導者塾

筑波大学の准教授澤江幸則先生を講師にお招きし、地域の指導者や教員や支援員が繋がり、共に学ぶ場を提供しています。現場で起こる現象を参加者みんなで向き合い、指導者のマインドや指導方法を共有しています。

初級障がい者スポーツ指導員養成講座

帝京平成大学の各キャンパスで行われる講座に、講師として登壇しました。知的障害・発達障害のある方々のサッカー環境や特徴を伝えると共に、指導者の在り方を重要性を伝えました。

数字で見るトラッソス



今年度は前年度より50回多い207回、指導者を派遣してサッカー教室を開催しました。これからも、多くの場所でサッカー教室が開けるように、指導者派遣事業の周知を図り、また指導者育成に力を入れたいと思います。



活動計算書

平成 27 年 12 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日まで (単位: 円)

活動計算書の詳細は「平成 27 年度 特定非営利活動に係る活動計算書報告書」(PDF)として、ウェブサイトより閲覧頂けます。また、NPO 法人としての事業報告書などを、所轄庁である東京都に提出し情報を公開しております。

経常収益

事業収益	19,753,707
寄附金	3,549,000
助成金	1,557,000
会費	727,000
利息	556
合計	25,587,263

経常費用

人件費	9,507,240	施設使用料	1,602,700
備品費	3,884,980	事務費	207,152
管理費	3,967,469	リース料	1,112,451
交通費	1,891,832	その他経費	2,579,216
		合計	24,753,040

来期への展望



クラブ・スクール事業は、指導指針にある「やりたくなるサッカー」を推進すると共に、誰にとっても居場所となる空間づくりを行っていきます。指導者派遣事業については、継続して派遣している地域にはより楽しめる内容を提供していきながら、新規派遣先も誕生します。指導者育成については、「障がい児の未来を見つめる指導者塾」を継続して行い、学ぶ事から受講者が提案・発表を行いながら共有を深めていきます。交流会事業については、実施している事業においてさらに啓発を行い、関わっていただける方々を増やしていきます。

ご支援頂いた企業・団体の皆さま

hummel®

ASSETNEEDS, INC

HAYS
Recruiting experts
worldwide

ROBERT WALTERS

Johnson & Johnson
FAMILY OF COMPANIES IN JAPAN

MDF
有限会社エムデーエフ

株式会社オーエンス 株式会社 D&I リベラル株式会社 株式会社ナカノ商会 株式会社 AZZIT
株式会社 COUXU 株式会社アクト・テクニカルサポート 東洋海運通商株式会社
パーソルキャリア株式会社 エンワールド・ジャパン株式会社 東京江戸川東ライオンズクラブ
双葉ライン株式会社 株式会社 LIFE.14 Footy Japan K.K

他にも多くの企業・団体の皆さまよりご支援を頂戴しております。また、会員の皆さまやボランティアの方など個人の方による支援や応援もたくさん頂いております。皆さまのご支援、誠にありがとうございます。

認定特定非営利活動法人トラックス



〒132-0021

東京都江戸川区中央 4-20-18 米富ハイツ 1F

TEL/FAX 03-5879-5879

HP: www.tracos.jp



2017年度活動報告書 2018年4月発行